

平成30年度 町PTA役員との意見交換会 実施報告書

- 1 日 時 平成31年1月31日（木）
午後7時から午後8時30分まで
- 2 場 所 福祉センター3階会議室
- 3 参加者 愛川町PTA役員（13人）
- 4 出席者 議長 小島総一郎 副議長 井出 一己
議員 井上 博明 議員 小倉 英嗣
議員 小林 敬子 議員 馬場 司
議員 山中 正樹 議員 熊坂 弘久
議員 渡辺 基 議員 佐藤 茂
議員 木下眞樹子 議員 佐藤 りえ
議員 熊坂 崇徳 議員 鈴木 信一
議員 岸上 敦子 議員 阿部 隆之
(以上、16人)

5 内 容

- (1) 議会活動状況等報告
 (ア) 議会の概要について
 (イ) 総務建設・教育民生常任委員会活動状況報告について
- (2) 町PTA役員 of 活動状況等報告
 (ア) 町PTA役員 of 活動状況等報告について
- (3) 意見交換

6 記 録

別紙のとおり

平成30年度 町PTA役員との意見交換会 記録（要点筆記）

（司会：阿部議員）

（1）議会活動状況等報告

ア 議会の概要について〈報告者：熊坂崇徳議員〉

イ 各常任委員会活動状況報告について

〈報告者：井上総務建設常任委員長・山中教育民生常任委員長〉

（2）町PTA役員活動状況等報告

ア PTA役員活動状況等報告について〈PTA連絡協議会 中村会長〉

（3）意見交換

【主な意見等】

問 両向地区では、通学距離が約4.5kmありました。子供たちのかばんの重さも6kgほどになり、学校まで約45分かかりました。やはり坂が2つあり、雪や雨の日などは本当に大変です。また、両向地区の子供がバスに乗るためには、県道54号まで、一度、坂を下りなくてはならないため、大変です。親も子供たちもみんなスクールバスの導入を希望しています。

答 一昨年の6月議会で、このスクールバスについて、町に質問をしています。

今のところ、町としては導入をする考えはないという回答でした。今後、導入を検討する際には、学校の統廃合等と合わせ検討していくとの回答でした。

現状において、最も遠い通学距離となっているのは、愛川東中学校では坂本地区からの2.5km、愛川中学校は川北地区からの3km、愛川中原中学校では上三増地区からの3.5kmとなっているとのことでした。

（参考）

「へき地教育振興法」によると、スクールバスを導入する場合、交通的条件及び自然的・経済的・文化的条件に恵まれない山間地、離島、その他の地域に所属する公立の小・中学校に関しては、通学距離が小学校は4km以上、中学校は6km以上を超えることが、導入するための1つの基準となっています。

問 虐待については、表面化しない場合もあると思いますが、虐待が疑われる家庭があった場合、町として実態調査はどのように行っているのか。

答 虐待の早期発見については、定期健診等に来られた時にアザ等の確認や成長が遅れていることなどの理由で確認する方法があります。また、保育園等では体操するときなどに、子供の様子を保育士が観察していますので、そこで変化が見られた場合は、町が保護者に聞き取りを行い、県の保健福祉事務所などと連携しながら、早期の対応を行っている状況です。

【その他の意見・要望】

- 各学校の建築年数の経過により維持管理費が嵩んでくると思いますので、統廃合をすることによって、不要となった予算でスクールバス等に捻出していただければと思います。また、学区に関しては、自宅のすぐ目の前に学校がありながら、遠くまで通学しているという子もいますので、学区の再編も含めて学校統廃合を進めていただければと思います。
- 下之街道から上がってくる坂には街灯がなく、落石注意という表示もあり、とても危険であると思います。低学年の子供たちは教科書などを全部持って帰らなくてはいけないので、ランドセルが重くて子ども達は大変苦勞しています。家庭によっては保護者が車で送迎をしている方もいます。坂の整備や点検などをお願いしたいと思います。
- 下六倉には、六倉坂がありますが、そこは車の往来が激しく、歩道もなくガードレール側には崖があり、とても危険な通学路です。特に低学年は、大きいランドセルを背負って歩いているととても危険だと思います。また、冬場は日が落ちるのが早く、不審者情報があつた時などには、地域の見守り活動において対応をしている状況です。何か事件事故が起きる前に対策をしていただきたいと思います。
- 小中学校一貫教育推進事業を個人的には幼稚園、保育園から始めた方がよいと思います。教育委員会の管轄とは違ってきますが、実施することで小学校に入学してから1年目の段階で学級崩壊がなくなるように感じます。
- スクールバスをすぐ整備することは難しいと思いますが、スクールゾーンを拡大し、自転車で通えるような何か仕組みづくりを取り入れていただきたいと思います。

- 高峰の三増合戦場付近はとても暗く、自転車で通る時などは心配です。
- 現在の運動部においては、生徒数の減少に伴って数も減ってきており、東中学校では野球部が成り立たない状態であります。顧問の方々も今厳しい状況の中で対応していますが、このまま人数がそろわなければ、存続も難しい状況であります。
- 現在の文化部においては、中原中学校で、パソコン部が存続の危機です。もともと人数が少なく、3年生が引退すると残った生徒が1名になり、活動が難しく、休部することに決まったことを聞きました。どの文化部も人数がそろわない状況であり大変そうです。
- 部活動において指導者不足という問題を抱える部活があり、東中学校の水泳部では外部指導者に入ってもらっています。学校と教育委員会が連絡を密にとっただけ、外部指導者をもう少し多く採用していただければ、先生方の負担も減り、子供たちは専門的な教育も受けられると思います。

など

